

新発田青少年健全育成市民会議だより

はばたき

市民みんなで手をたずさえて

一子どもまつりー

(9月13日 サン・ビレッジしばた)



食べる



かき氷



ゲート

遊ぶ

ひらひらキャッチ



作る

木のペンダント

青少年健全育成「市民一斉パトロール」のお知らせ

と き 11月3日(祝日)午前9時30分～正午

- ・出発式 9時30分～10時 青少年健全育成センター駐車場
(雨天は屋内ミニ体育館)
- ・パトロール等 10時30分～正午(中学校区毎)

パトロール等は、中学校区の活動となります。(別の日に行う地区もあります。)

明日を担う青少年の健全育成のために大勢の皆様のご協力をお願いします。

～詳しくは、市民会議事務局またはお住まいの育成協議会へ～



ごあいさつ

新発田青少年健全育成市民会議



会長 臼井 茂夫

近年、携帯やインターネットのサイトによる犯罪や有害情報の問題が、私たち大人の目の届かないところで多発しています。親の知らぬ間に出会い系サイトの中で色々な人と知り合うようになり、被害に遭うケースが多く、また学校裏サイトにやるいじめの問題も増えています。

通学時の安全確保や情報入手が手っ取り早くできるなど確かに便利ですが、有害性や危険性も無視できません。そのことについてもっと認識を深め、責任を持って管理をして、適切にメディアを活用するルール作りを家庭でも徹底させることが急務であります。

メール人間は、顔と顔を見合わせて意思を交わす本来のコミュニケーション能力を損ない、人とのかかわりを希薄にする恐れがあります。青少年健全育成の原点である人間関係の重要性を考えると、ネット社会の持つ問題点をいかに把握し、対応するかが大きな今日の課題であると思います。

“人とのかかわり”をどう育てるかを考えましょう

現代社会を背景として、子どもたちにはお互いの交流や接触の機会が少なくなっているようであり、人とのかかわりを深め、あたたかな心のふれ合いを求める指導について述べていただきました。

地域の中で

菊池 松太郎

私達は、盆踊り保存会の会員が中心となり、地域の盆踊りを毎年行っています。会員は三十名程で、半分の十五名は中学生を中心に子供達の構成です。

数年前までは、この子達も会員とは言えお客様状態で、大人が面倒を見て上げていました。

しかし、最近では、練習の準備や後始末などを気が付いた子が自然に行っている。相変わらず練習の合間には殆ど遊びだが、それはそれで、みんな大家族の兄弟姉妹の様に仲がいい。

又、盆踊りの準備は何日も掛り苦労が多いのですが、今年は子供達が良く手伝いました。

自分達が手伝い作り上げた舞台で、叩いた太鼓の音は、笛の音は、より気持ちよかったです。会場に集まったお客様から、掛声が掛ったり、拍手が出たり、一年で一晚だけの時間ですが、この体験が、子供達をすなおに成長させてくれていると思います。理解有るこの地域に感謝。



子どもの心によりそって

子ども達は皆、日本の宝物

安藤 眞知子

未来の日本社会を担う子供達に私達大人は、何を期待し育成して行ったら良いのでしょうか。子供達を取り巻いている社会環境は皆、私達大人が作り上げて来たのだと思います。つい先日テレビニュースで子供達たら捕まっても罪が軽いだらうと自分の子供にスパーで万引きを強要し捕まった愚かな親の事が報道され心が痛みました。又、公園での子供達の遊ぶ声が聞こ

子育てナビ

大久保 久

えなくなる一方で相手が居なくても独りで楽しむ事の出来るテレビゲームや携帯電話がはびこっています。私たちが、生きている事の幸せを感じたり又、他人に優しくしてあげる気持は人間関係の中から培われる事が大きいと聞かせて頂いた事があります。忘れかけていた私の子育ての頃を思い出してみたら、子供達は皆周りの大人の友達から声を掛けて貰っていました。今度は私がお返しをする時です。まずは自分の出来る所で、登下校の子供達に逢ったら「お早よう」「お帰りなさい」と挨拶から始めさせて頂き優しく見守ってゆきたいと思います。

少子化 核家族化 家庭の崩壊 不登校等々 これらの状況の中に他人との関わりによる人間づくりの難しさがあると思われる。

その根元を、子育てに焦点を当てて考えてみたい。

子どもの人間関係のスタートは母親との関係に尽きる。ここを原点としてこの時期に母親から愛情豊かに育てられることは重要な意味を持つ。子守歌 語

りかけ 胸のぬくもり……赤ちゃんは安らぎの中に豊かな感情を育くみ人間の温かさや優しさなどが自然と身についていく。やがて母親を支える父親に、祖父母 近隣の人 友だちへと広がっていく。

近年、この人との関わりの根幹の部分が稀薄になっているのではないかと思う。

やがて成長していく子どもたちに時には同じ目線に立って語りかけ、お互いに話し合って信頼関係を築きあげ人と人との交わりを深めていくことが出来るようにしたいものである。

受難の

現代っ子たちへ

田村 宏樹

現代の子供たちは、昭和四十年生まれの私とは、育つ環境が大変違ったものになっていきます。

生まれたときから既にTVゲームや携帯電話があり、川で遊ぶなどと言われ、他に外で遊んでいる大勢の子供たちもいない。中学生や高校生は、親が車にて送迎。ひ弱だとか過保護だとか、とかく言われがちです。

しかし、無理ありません。共働きが当たり前になり、子供た



住吉町三区子ども会キャンプ

ちの遊び場を見にくれる大人もいない。数多くあちこちから寄せられる不審者情報。

明らかに時代が変わったのです。子供たちに非はありません。否定的でなく、現代っ子の視点に立って一緒に物事を見てあげるにより、好ましいコミュニケーションを作り、非行や引きこもりに走ることを防いでやるのではないのでしょうか。

そのためにはやはり、他所の子供にも注意の呼びかけをしてあげたり、地域の行事には、役員以外の大人も積極的に参加して、子供たちとの交流をはかつていくことが大切なのだと思います。

ギブ・アンド・テイク

槇坂 宣弘

町内のラジオ体操会でのこと。参加カードに丸印を押してもらうために並ぶ列の中に子ども連れの若いお父さんが教えていました。

「お願いします」を、
「ありがとう」を、

小さい子でしたが、人とのかわりでの基本ルール(原則)を学んでいました。

社会生活でいかによりよい人間関係を築き、さまざまな状況に適応し、調和して生きるための基本を身につけさせることが大切でしょう。

心理学者の国分康孝先生は「ギブ・アンド・テイク」の原則を強調しています。

つまり、「人に何かしてもらったら、して返す」ということで、「世の中は自分のためにつくられたものではなく、自分のために何かしてほしければ、自分も何かして返す」と、社会生活のルールを強調しています。

そして、ギブ・アンド・テイクを学ぶには、人との集団生活の体験をおして、「世の中とはそういうものだ」と学んでいくと述べています。

平成21年度

各育協議会等の活動(抜粋)

本市では13地区の育成協議会等が、それぞれの地域特性を生かして特色ある活動をすすめています。

本号では7地区の活動をお知らせし、他の6地区は次号でご報告いたします。

○二葉地区青少年育成協議会

- ・町内クリーン活動
- ・下校時街頭パトロール
- ・おやじの会の後援(PTAキャンプ)
- ・親子ふれあい活動(ドッジボール)
- ・広報紙の発行

○御免町小・一中地区青少年健全育成協議会

- ・あいさつ運動(老人クラブとの連携)
- ・あかるい地域づくり運動

(三世代交流の活動)

○住吉小学校区青少年育成協議会

- ・研修講演会
- ・あいさつ運動(三回)
- (PTA町内会ほか地域団体との連携)
- ・交通安全、通学指導
- ・子ども安全連絡協議会
- ・広報紙の発行

○川東地区自治会連合会育成部

- ・あいさつ運動
- ・生徒指導懇談会
- ・防犯パトロール
- ・小中連絡会
- ・広報紙の発行

○豊浦地区青少年育成協議会

- ・講演会の開催
- ・不審者情報の収集と発信
- ・地域パトロールの実施
- ・地域交流活動

(豊浦ヒューマンネットワーク豊浦冒険の旅)

(六年生の一体験入学)

○さわやか佐々木っ子育成会

- ・佐々木盆踊り
- ・冬祭り

- ・研修講演会
- ・親子ふれあい事業

(レクリエーション、餅つき大会など)

○紫雲寺地区青少年健全育成協議会(三専門部会制)

- ・登下校時パトロール
- ・れんぎょうパトロール
- ・写真コンクール

(わが家わが地域の元気っ子)

・第17回教育振興大会

(講演、座談会)

- ・広報紙の発行



「K-SPARK」 ヒップホップダンス

中学生 わたしの主張

～発表の要旨～

だが新聞は、私たちに新たな発
達存在になりがちな新聞。

新聞をもっと読もう

豊浦中学校三年 難波 勇太

いつも野球のユニフォームを
洗ってくれていた祖母が倒れた
事で、「私は周りの人に支えられ
て生きている」と気づき、あたり
前だと思っている日常の事に感
謝しようと思った。

「ありがとう」を伝える

加治川中学校三年 日水 信悟

やりがいのある 仕事とは

七葉中学校三年 中村 萌江

必死さの中に、楽しさややり
がいを、感じながら働くことに
意味があると、私は思います。今、
自分ができることを精一杯やり、
将来やりがいのある仕事に就き
たいと思っています。



青少年健全育成 市民大会を開催！

7月25日(土)

新発田市生涯学習センター

来賓として、片山吉忠市長、市議会議員(代理・渋木副
議長)、教育委員の皆様をお迎えし、300人近い市民の方々
の出席のもとに開催されました。

○青少年健全育成功労者の表彰

- ・新発田市健民少年団(団長) 青山 武夫様
- ・日本ボーイスカウト新潟連盟
新発田第一団ビーバー隊隊長 福田 栄司様
- ・新発田市子ども会連合会(前会長) 森田 國昭様

○活動事例発表

紫雲寺地区青少年健全育成協議会

会長 比企 広正様

- ・「紫雲寺地区れんぎょうパトロール隊の活動」
について

○わたしの主張「市内発表会」

- ・市内5中学校生徒が、日常生活での体験や感懐を若
者らしい感性をもって発表(別掲)

最後に、記念アトラクションとして、「K-SPARK」に
よる軽快なダンスで幕を閉じました。



受賞の方々

エコ中学生になろう

東中学校三年 大沼 直観

今、全世界で問題となってい
る地球温暖化。この問題を解決
するには、これからの社会をす
ぐに担っていくかなければなら
ない。私達中学生が、身近なエコを
確実に実行することが重要だと
思う。

心の霧が晴れたとき

第一中学校二年 萩野 純也

チームの中で劣等感を感じて
いた僕でしたが、監督の言葉で
さらに練習に励むようになりま
した。誰もが抱える劣等感、時
に険しい壁を乗り越える原動力
になることもあるのです。

市民会議への期待

七月二十五日 生涯学習センターで、中学生五名の「わたしの主張」の発表があった。

市民会議の事業で、毎年行われている催しであるが、素晴らしい発表であった。もっと多くの市民の方に聴いてほしかった。市民の皆様から、年間二百円の会費を納めて頂いているのに、会の活動の様子が知られていない。年二回発行の会報「はばたき」だけでなく、「広報しばた」等にも活動を紹介し、市民に参加を呼びかけてはどうだろうか。

(一市民男性)

事務局から

このたびは、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

市民会議では、市とともに健全育成事業の推進に努めております。

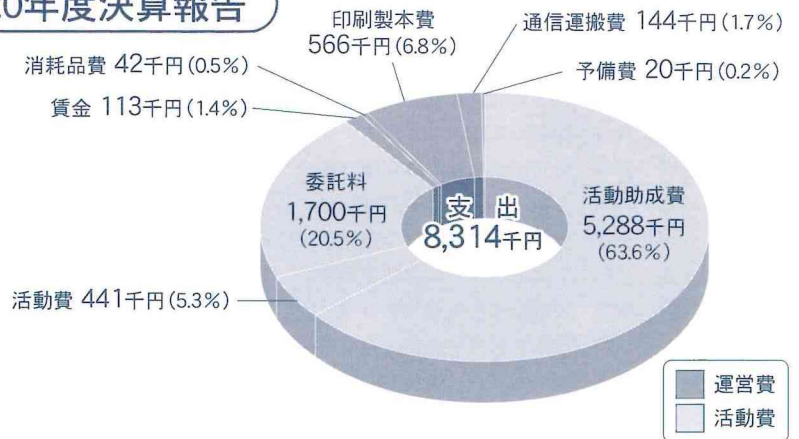
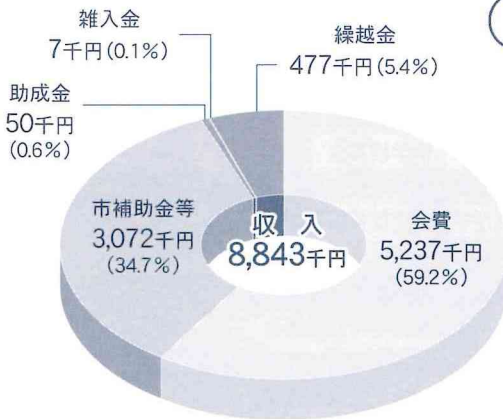
ご要望等を踏まえ、今後は、活動の様子をお知らせできるように、会報、広報しばたはもとより、ホームページの充実を図るとともに、学校、地区育成協議会等と連携し、広く市民の皆様から参加をいただけるような工夫を更に心がけてまいりたいと考えております。

平成21年度理事会を終えて

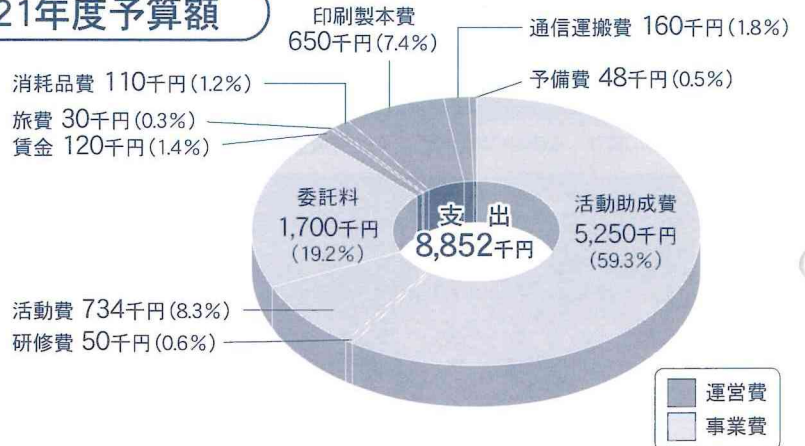
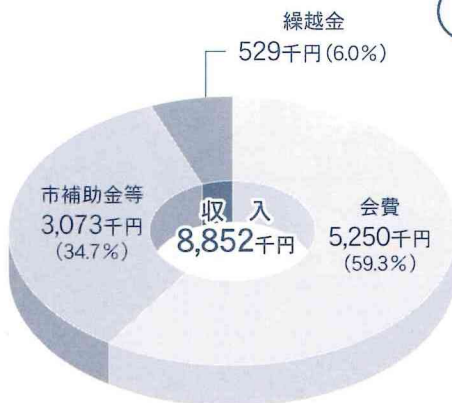
(5月16日(土))

～各世帯から会費をいただきました。ご協力ありがとうございました。～

20年度決算報告



21年度予算額



平成21年度の活動助成費は下記の組織団体に助成しました。

13地区青少年育成組織

組織名	助成金額(円)
外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	311,000
御免町小・一中校区育成会議	316,000
猿橋小学校区青少年健全育成協議会	407,600
二葉地区青少年育成協議会	256,000
住吉小学校区青少年育成協議会	278,000
東豊学区青少年健全育成協議会	335,800
東中学校区すこやかな子どもを育てる会	354,000
川東地区自治連合会育成部	176,000
七葉中学校区すこやか育成会	235,000
さわやか佐々木っ子育成会	143,000

豊浦地区青少年健全育成協議会	332,000
紫雲寺地区青少年健全育成協議会	271,000
加治川地区青少年健全育成協議会	254,000

青少年育成団体

組織名	助成金額(円)
市子ども会連合会	938,000
市健民少年団	212,400
市スポーツ少年団	233,000
ボーイスカウト新発田第1団	153,200
少年補導委員会	44,000

よろしくお願いします

新発田青少年健全育成市民会議

役員名簿

任期／平成20年6月1日～平成22年5月30日
(網かけは平成21年度新任者)

役職	氏名	選出区分等（専門委員会等役職）	役職	氏名	選出区分等（専門委員会等役職）
会長	白井 茂夫		理事	居城 正寿	七葉中学校区すこやか育成会
副会長	田村 光雄		"	星野 忠太	さわやか佐々木っ子育成会
"	高橋 大作		"	後藤 政実	さわやか佐々木っ子育成会
常任理事	大森 陸雄	スポーツ少年団(少年団体活動推進委員会委員長)	"	渡邊 信明	豊浦地区青少年健全育成協議会
"	高橋 剛	ボーイスカウト新発田第1団	"	新井田 明	紫雲寺地区青少年健全育成協議会
"	中村 直子	外ヶ輪小学校区青少年育成連絡会	"	佐藤 孝一	加治川地区青少年健全育成協議会
"	皆川 美枝	豊浦地区青少年健全育成協議会	"	猿子 洋司	民生委員児童委員連合会
"	比企 広正	紫雲寺地区青少年健全育成協議会(地域活動推進委員会委員長)	"	櫻井 忠夫	保護司連絡会
"	長谷川 清	加治川地区青少年健全育成協議会	"	小池 完治	新発田地区少年補導員等連絡会
"	大倉 繁良	少年補導委員会(社会環境推進委員会委員長)	"	加瀬 博	児童相談所
"	宮村 嘉吉	防犯組合	"	濱田 浩彦	新発田警察署
"	富樫 政晴	自治会連合会(組織強化推進委員会委員長)	"	荒井 重人	自治会連合会
"	渡邊 和昭	学識経験者	"	齊藤 光夫	自治会連合会
"	若月 学	学識経験者	"	湯浅 喜六	新発田地区交通安全協会
理事	永松 九子	子ども会連合会	"	目黒 隆	小学校長会
"	青山 武夫	健民少年団	"	丸山 雅人	中学校長会
"	宮崎 光衛	新発田地区緑の少年団育成会	"	佐藤 一雄	高等学校長会
"	浮島 一雄	御免町小・一中校区育成会議	"	伊藤登茂子	市立保育園長会
"	松川 康男	猿橋小学校区青少年健全育成協議会	"	伊藤 純子	私立保育園長会
"	伊藤 正仁	二葉地区青少年育成協議会	"	田中ひとみ	市立幼稚園長会
"	横坂 宣弘	住吉小学校区青少年育成協議会(編集委員長)	"	斎藤 孝正	私立幼稚園協議会
"	石井 真理	東豊学区青少年健全育成協議会	"	近 弘子	住吉小学校区母親クラブ
"	松永 温	本丸中学校区明るい子どもを育てる会	"	大川原さとみ	加治川地域子育てクラブ
"	木川 正直	第一中学校区「未来を築く子どもを育てる会」	"	石井 辰吉	学識経験者
"	長谷川健一	猿橋中学校区すこやかな子どもを育てる会	"	渡辺 富子	学識経験者
"	大沼 信勝	東中学校区すこやかな子どもを育てる会	"	金田 緑	学識経験者
"	武藤 圭子	東中学校区すこやかな子どもを育てる会	"	青山 房子	学識経験者
"	長谷川喜克	川東地区自治連合会育成部	"	若桑 茂	学識経験者
"	武者 克広	川東地区自治連合会育成部	監事	小山志賀之助	
"	坂上 新作	七葉中学校区すこやか育成会	"	今村由記子	

○子ども達に、守るべき社会のルールを教えましょう。

学識別

単位:人員

	総数	小学生	中学生	高校生	その他	有職少年	無職少年
21年	50	2	26	15	1	3	3
20年	44	6	18	12	0	5	3

罪種別

単位:人員

	総数	刑 法 犯						特別法	
		計	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯 万引き	わいせつ	その他		
21年	50	49	0	1	38	25	0	10	1
20年	44	40	0	1	23	11	0	16	4

非行少年の補導状況

Ⅱ 新発田警察署資料Ⅱ

(平成21年1月～6月)

- ・子どもを放任しない
- ・子どもを甘やかさない
- ・子どもに希望とやる気をもたせる
- ・三つ叱ったら三つほめよ
- ・幼いときからしつけることを怠らない
- ・家庭は最も身近な社会
- ・子どもに善悪のけじめをつけさせる
- ・笑いのある家庭づくり
- ・親子の対話を忘れない

非行防止のポイント

あとがき

本年度の青少年健全育成成功
労者として、市民会議表彰を受
けられた三名の方々は、それぞ
れ所属の団体で三〇年以上こ
活躍の皆さんで、まさに各団体
の創始期の基盤づくりから尽
された方々であります。
受彰おめでとうございます。

＊ ＊ ＊

会長のごあいさつに、「人間
本来のコミュニケーション能
力の希薄化」が指摘されていま
す。

今号では、子どもたちへの「人
とのかかわり」の指導について
述べていただきました。

時代背景への視点を含めて
のお考えをいただき、ありがと
うございました。
(横坂)

編集部

弘み子 緑夫子
宣さ富 忠房
坂原 辺田 井山
横大 渡金 櫻青

発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
電話 (〇二五四)二六〇八九七